

【2024年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査】 2日以上プログラムは満足度が高いものの、参加できない学生も

学生が参加したインターンシップ・1day仕事体験の件数全体のうち、
「1日以下」のプログラムは85.9%、「5日以上」のプログラムは3.0%

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、「2024年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査」を実施しました。2022年9月時点の調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

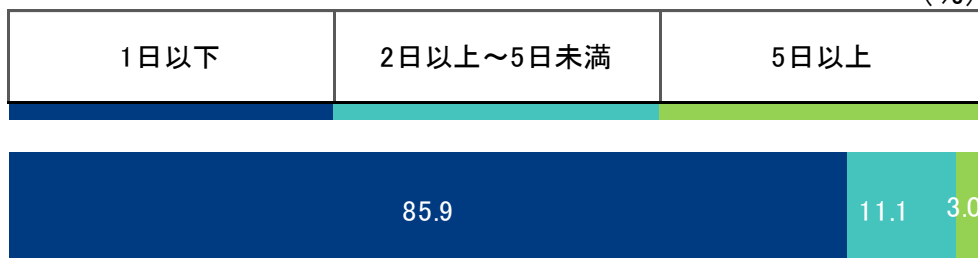
2日以上プログラムや、業務の一部を経験できるプログラムの満足度が高い



所長 栗田 貴祥

今回の調査では、2024年卒学生の「インターンシップの参加状況や満足度」について調査し、参加したプログラムの期間別に分析を行いました。活動経験者のプログラム期間別の参加状況を見ると、「1日以下」に約9割の学生が参加し、平均参加件数5.15件である一方、「5日以上」は13.7%、平均1.16件の参加にとどまりました。参加件数全体におけるプログラム期間の割合は、「1日以下」が85.9%と大半を占めます。また、満足度については、どのプログラム内容も2日以上の方が高く、かつ期間にかかわらず、業務の一部を経験できるプログラムの満足度が高くなっています。それぞれのプログラムについて参加して良かった点を期間別に見ると、業種や仕事内容を具体的に知ることができたは、どの期間も6割を超えていますが、雰囲気や事業内容を知ることができた、スキルを見極めることができたは「5日以上」のプログラムがより高い割合となりました。一方で、多くの学生が「1日以下」のプログラムに参加している状況を踏まえ、「1日以下」のプログラムのみに参加した学生に、2日以上プログラムに参加しなかった（できなかった）理由を聴取したところ、「予定が合わなかった」「希望業界・職種・企業で2日以上プログラムがなかった」「2日以上プログラムの選考に通過しなかった」という声が多く聞かれました。比較的長い期間や業務経験の機会があるインターンシップは、企業にとって実施のハードルが高いプログラムだと思いますが、学生にとって自分の能力を見極めることにつながる機会となります。学生が参加できるプログラムの選択肢が増えるよう、より長期のインターンシップの参加機会を増やしていただくなど、企業の皆さまに検討をお願いしたいです。

■ インターンシップ・1day仕事体験 参加件数全体におけるプログラム期間の割合
（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者／数値回答）



本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.jp/support/form/>

調査概要

■2024年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査

調査目的：2024年卒学生のインターンシップ・就職活動準備の現状を把握する

調査方法：インターネット調査

調査対象：『リクナビ2024』（※）会員より、2024年3月卒業予定の大学生および大学院生

調査期間：2022年9月20日～26日

回答者数：大学生 1,213人 大学院生 377人

集計方法：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト

<https://job.rikunabi.com/2024/>

◀調査結果を見る際の注意点▶

- ・%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- ・データは無回答サンプルを除いて集計している
- ・2024年卒業を「2024年卒」と表記

◀調査の集計について▶

・「2022年9月時点での進路の志望状況」で①～⑥のいずれかを選択した回答者を「就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む」として集計する

■2022年9月時点での進路の志望状況（大学生／複数回答）

	n数	① まだ 志望進路を 決めていない	② 民間企業に 就職したい	③ 公務員として 就職したい	④ 教員として 就職したい	⑤ 医師・ 歯科医師・ 看護師として 就職したい	⑥ 公務員・ 教員・医師・ 歯科医師・ 看護師以外で 民間企業では ない組織・ 団体に 就職したい	⑦ 起業したい	⑧ 大学院等へ 進学したい	⑨ 留学したい	⑩ 留年するので 卒業しない	⑪ その他
卒業後の 志望進路	1,213	14.8%	74.4%	18.0%	3.1%	0.4%	4.0%	2.5%	8.4%	2.3%	0.2%	0.8%

■掲載内容

- P.3 インターンシップ・1day仕事体験へのプログラム期間別参加状況、プログラム期間の割合
- P.4 （参考）2023年卒対象のインターンシップの主な実施期間（企業）
- P.5 インターンシップ・1day仕事体験の期間別満足度
- P.6 インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別参加日数
- P.7 インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容の期間別満足度
- P.8 インターンシップ・1day仕事体験の期間別良かった点
- P.9 2日以上プログラムに参加しなかった（できなかった）理由

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにいる、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

「1日以下」への参加経験が88.5%に対し、「5日以上」への参加経験は13.7%

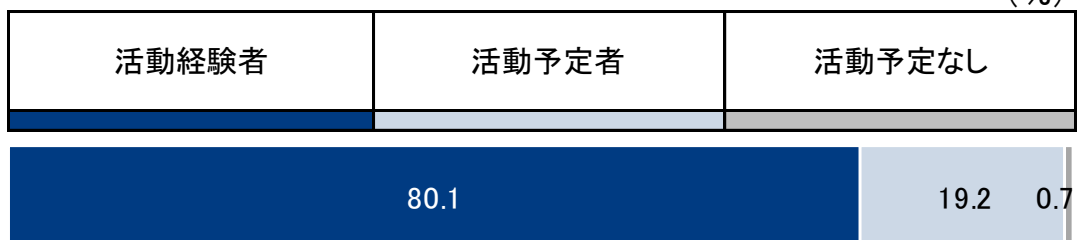
・活動経験者のプログラム期間別の参加状況を見ると、「1日以下」が88.5%、「2日以上～5日未満」が33.0%、「5日以上」が13.7%であった。また、平均参加件数は「1日以下」のプログラムが5.15件である一方、「2日以上～5日未満」は1.79件、「5日以上」は1.16件にとどまる。

・件数全体で見ても、学生が参加したインターンシップ・1day仕事体験のうち、「1日以下」の割合が全体の85.9%と大半を占めた。

■活動経験割合

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／単一回答)

(%)



■インターンシップ・1day仕事体験へのプログラム期間別参加状況

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者／数値回答)

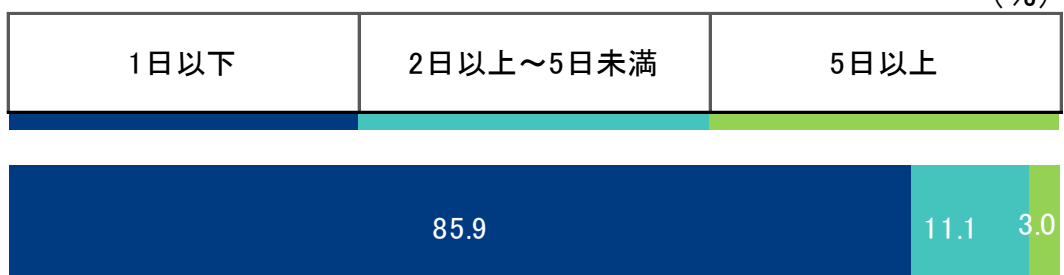
	n数	経験割合(%)	平均数(件)
1日以下	941	88.5	5.15
2日以上～5日未満	941	33.0	1.79
5日以上	941	13.7	1.16

※平均件数の集計対象は、1件以上参加した学生

■インターンシップ・1day仕事体験 参加件数全体におけるプログラム期間の割合 (再掲)

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者／数値回答)

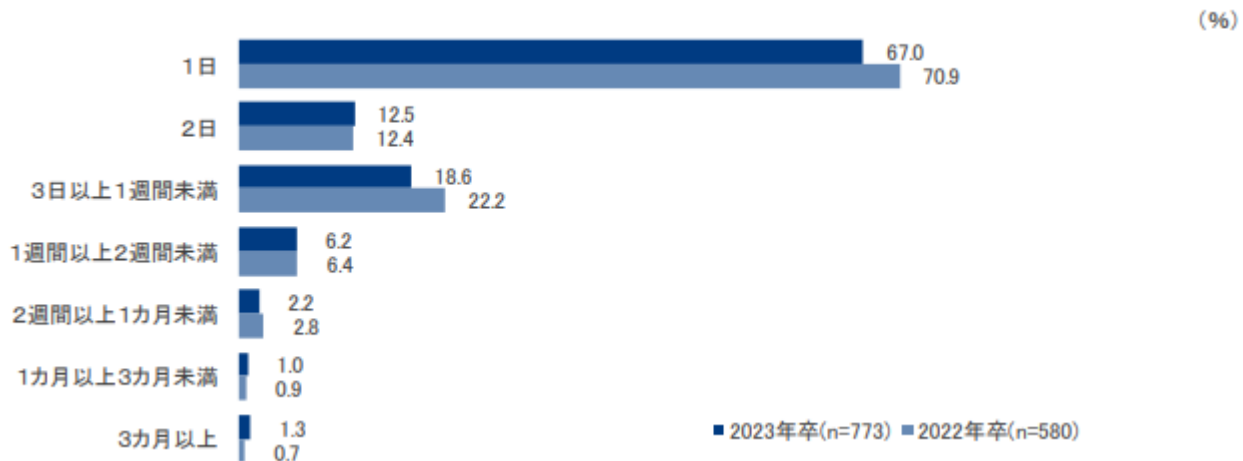
(%)



参考データ

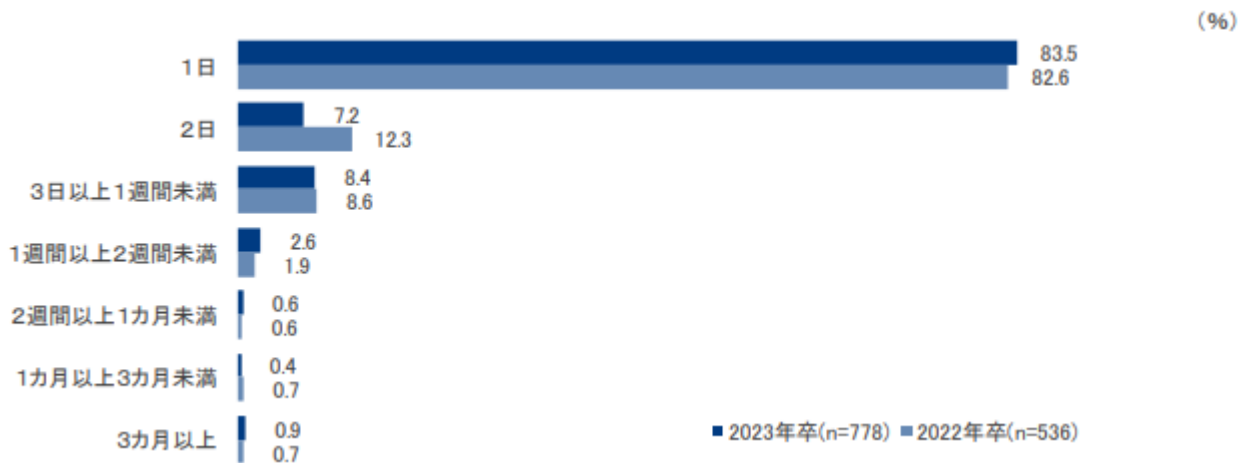
■2023年卒対象インターンシップの主な実施期間 (対面)

(2023年卒対象インターンシップ実施または実施予定企業／複数回答)



■2023年卒対象インターンシップの主な実施期間 (Web)

(2023年卒対象インターンシップ実施または実施予定企業／複数回答)



※ 出典『就職白書2022』：企業調査期間 2021年12月4日～2022年1月12日

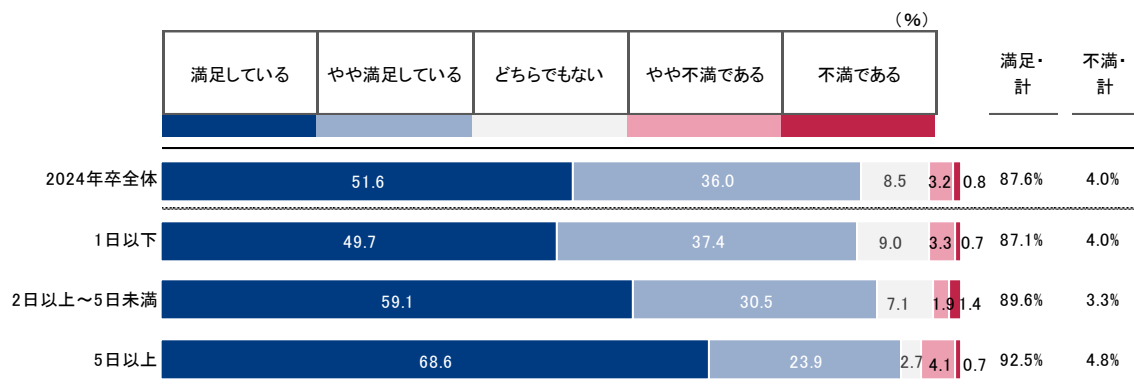
※ 「インターンシップ」という表記は1日以内の仕事体験型プログラムを含めて使用している

より長い期間のプログラムの方が満足度が高い

・インターンシップ・1day仕事体験の参加後の満足度について、「満足している」と回答した割合は全体で51.6%。プログラム期間別に満足度を見ると、期間がより長い方が「満足している」と回答した割合が高い。

■インターンシップ・1day仕事体験のプログラム期間別満足度

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者／インターンシップ・1day仕事体験参加企業最大5社分についてそれぞれ単一回答で聴取したものを合計)



※n数：2024年卒全体：3,165、1日以下：2,642、2日以上～5日未満：396、5日以上：127

2日以上プログラムで、業務の一部を経験できるような内容が多い

・インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別に参加日数を聴取すると、「自己分析をする」「業種や企業の説明を受ける」「直接社員に質問できる質問会など」の順で「1日以下」の割合が高かった。

・一方、「アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験する」「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」といった業務の一部を経験できるようなプログラムが「2日以上～5日未満」と「5日以上」で相対的に高かった。

■インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別参加日数

(大学生・インターンシップ・1day仕事体験経験者／

インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ単一回答で聴取したものを合計)

(%)

	1日以下	2日以上～5日未満	5日以上
全体	83.5	12.5	4.0
自己分析をする	85.3	10.9	3.9
業種や企業の説明を受ける	85.0	11.3	3.7
直接社員に質問できる質問会など	83.1	13.0	3.9
就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	82.7	12.0	5.3
社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする	78.1	16.6	5.3
新規事業についてワークやディスカッションなどをする	74.9	20.5	4.6
社員の基幹的な業務の一部を経験する	72.4	19.5	8.1
職場や工場の見学	60.8	21.8	17.3
社員の補助的な業務の一部を経験する	56.7	24.7	18.6
仕事をしている社員に同席あるいは同行する	51.9	26.5	21.6
アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験する	46.7	22.5	30.8

※「1日以下」の数値の大きい順に掲載、「その他」は除く

※集計軸（インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容）は、インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ複数回答で聴取したものを合計

2日以上プログラムの方が満足度が高い傾向

- ・参加したインターンシップ・1day仕事体験プログラム内容別に満足度を聴取すると、「満足している」の回答割合は、「1日以下」に比べ、「2日以上～5日未満」「5日以上」の方がどのプログラム内容でも満足度が高かった。
- ・「1日以下」「2日以上～5日未満」では「社員の基幹的な業務の一部を経験する」、「5日以上」では「社員の補助的な業務の一部を経験する」の満足度が最も高かった。
- ・「5日以上」と「1日以下」の満足度の差が最も大きいものは「社員の補助的な業務の一部を経験する」であった。

■インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容の期間別満足度「満足している」回答割合
 （大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者／
 インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ単一回答で聴取したものを合計）

(%)

プログラム内容	1日以下	2日以上～5日未満	5日以上
社員の基幹的な業務の一部を経験する	60.0	73.9	76.3
職場や工場の見学	59.3	71.3	79.3
社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする	57.1	62.6	79.3
新規事業についてワークやディスカッションなどをする	55.1	67.6	73.7
自己分析をする	53.8	58.1	77.1
直接社員に質問できる質問会など	52.8	63.7	78.5
就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	52.2	65.6	78.4
業種や企業の説明を受ける	50.5	62.9	73.3
アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験する	49.4	68.9	65.9
社員の補助的な業務の一部を経験する	48.7	65.0	81.7
仕事をしている社員に同席あるいは同行する	48.2	66.6	74.5

※「1日以下」での数値の大きい順に掲載、「その他」を除く

※集計軸（インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容）は、インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ複数回答で聴取したものを合計

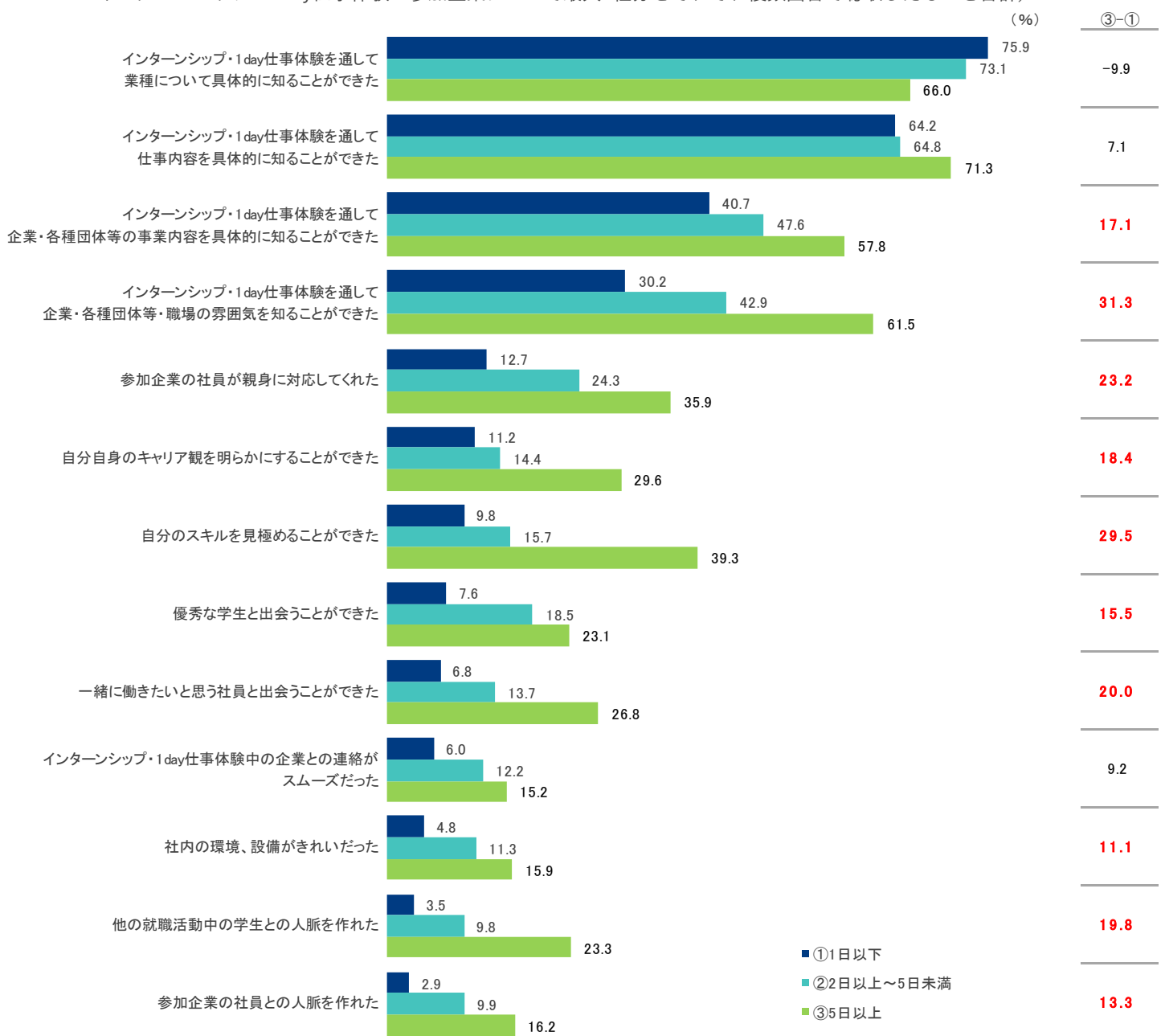
参加して良かった点は、ほとんどの項目で「5日以上」のプログラムがより高い割合

・参加したインターンシップ・1day仕事体験について、それぞれの良かった点を聞くと、「インターンシップ・1day仕事体験を通して業種について具体的に知ることができた」「インターンシップ・1day仕事体験を通して仕事内容を具体的に知ることができた」はプログラムの参加期間にかかわらず6割以上となった。雰囲気や事業内容を知る、スキルを見極めるなどの項目は、「1日以下」と比べて「5日以上」の割合が高く、その他のほとんどの項目でも10ポイント以上の差があった。

■インターンシップ・1day仕事体験のプログラム期間別良かった点

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者／

インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ複数回答で聴取したものを合計)



※10ポイント以上の差（ポイント）を赤字で表記、「1日以下」での数値の大きい順に掲載、「その他」「良かった点はなかった」を除く

※集計軸（インターンシップ・1day仕事体験のプログラム期間）は、インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ単一回答で聴取したものを合計

予定が合わなかった、2日以上プログラムがなかった、選考に通らなかったなど

・「1日以下」のプログラムへの参加経験は88.5%であるのに対し、「2日以上～5日未満」は33.0%、「5日以上」は13.7%にとどまる（P.3）。「1日以下」のプログラムのみに参加した学生に、2日以上プログラムに参加しなかった（できなかった）理由を聴取した。

・「予定が合わなかった」「希望業界・職種・企業で2日以上プログラムがなかった」「2日以上プログラムの選考に通過しなかった」というコメントが多かった。また、「幅広く参加したかったため2日以上プログラムへの参加希望がなかった」「選考のためのエントリーシートが書けなかった」という声が聞かれた。

■2日以上プログラムに参加しなかった（できなかった）理由
（大学生・1day仕事体験プログラムのみ参加者／自由回答）

コメント	文理・性別	1day仕事体験 参加社数
学業が忙しく長期間のインターンに参加できなかった。	文系男性	4
バイトや介護などとの日程が調整出来なかったから。	文系女性	5
学外実習により予定が合わなかったため。	理系女性	5
予定が合わせられなかったことと、まだ自分の志望する業界、業種が決まっていなかった ので、広く浅くインターンシップに参加しようと思ったから。	文系女性	5
希望の職種のインターンシップがほぼ1日のものばかりだから。	文系女性	4
自分の気になっていた企業が1日だったため。また2日間のも申し込んだが、ESが通らな かった。	理系女性	5
色々な企業を受けてみたく業界を知りたかったので半日や1日のインターンに参加した。	理系男性	6
志望する業界が決まっていないので、2日以上時間をかけるのは躊躇したから。	文系女性	4
複数日のプログラムにも参加したいと考え、ESを提出したが、選考に通らなかった。	文系女性	4
2日以上プログラムは、選考がある場合が多く、そのためのエントリーシート提出期限が 8月までであるものがたくさんあったため、部活で提出できなかったため。	文系女性	4
1day以外のインターンに応募するESが書けなかった。	理系男性	5
仕事の理解や自己分析、エントリーシートの準備がまだできていなかったから。	文系女性	2
2日以上プログラムは、現地（対面）で行う場合が多く、現地までに向かうまでの交通費 やコロナ感染のリスク等があったため。	理系女性	4
複数日のプログラムは対面のものが多く、新型コロナウイルスの感染リスクを考えて。	理系男性	2